

Dgs Journal

ドラッグストア業界特化型『勝つため』の日刊メディア



Web アーカイブ版 <https://dgs-j.net> ※複数人での1アカウント利用、無許可での転送・転載・複写・複製・データ使用は厳禁

日登会新会長に横山英昭氏（コスモス薬品社長）が就任 「登録販売者は全ての医薬品の販売シーンに関与する」

6月14日、一般社団法人 日本医薬品登録販売者協会（日登協）が記者会見を開催し、新会長にコスモス薬品・代表取締役社長の横山英昭氏＝写真＝が就任したこと、団体名を「一般社団法人 日本医薬品登録販売者会（日登会＝にっとうかい）」に変更したことを発表した。（取材と文＝佐藤健太）

医薬品販売制度検討会に強い懸念



横山新会長は、同会見で「一般社団法人 日本医薬品登録販売者会は、『すべての登録販売者の資質向上、業務支援、社会的地位の向上および登録販売者を目指す方への育成支援』を積極的に取り組む職能団体。登録販売者は、セルフメディケーション推進の要として、国民の皆さまの健康増進のため、重要な機能を担っている。

一方で、2024年1月12日に『とりまとめ』が公表された『医薬品の販売制度に関する検討会』並びに、2025年度薬機法改正を見据えた『厚生科学審議会 医薬品医療機器制度部会』の議論において、セルフメディケーション推進に逆行する法改正が検討されていることに、強い懸念を感じる。登録販売者は『薬機法 第三十六条の九』を遵守し、全ての医薬品の販売シーンに関与する」と表明した。

登録販売者を「医薬品販売士」へ名称変更めざす

その上で「登録販売者の役割としては、医薬品・サプリメント・医療機器等の情報提供・相談対応・販売等を通じて、セルフメディケーションを推進し、国民の保健衛生向上および医療費低減化に貢献すること。離島・へき地を含む全国各地で従事しており、その大半がドラッグストアで勤務している」と伝えた。

また、ドラッグストアによる OTC 医薬品の販売金額は、市場シェア約9割を占めている（2022年度 OTC 市場は、1兆1,771億円）。OTC 医薬品の販売金額に占める第2類医薬品・第3類医薬品の割合は約95%であり、登録販売者の果たす役割は非常に大きい。日登会は、2024年6月7日現在で会員数

52,600名（ドラッグストア勤務割合約95%）・加盟社243社。活動内容は、①登録販売者の地位保全、職域拡大、職能向上を図る②登録販売者の名称を「医薬品販売士」に変更し、国民の皆さまに分かりやすい名称とする③登録販売者法（身分法）を制定し、セルフケア・セルフメディケーションの担い手としての法的位置づけを明記するように取り組んでいきたいと考えている」と今後の重点施策を明かした。

==最新ニュース==

【JACDS】新会長の塚本厚志氏が所信表明

以下塚本新会長のコメント。JACDSが発足してから25年。その間、ドラッグストア業界の売上高は2兆6000億円から10兆円に届くまでに成長した。これはひとえに、何をさしおいても生活者の支持を第一に考え行動してきたJACDSの貢献は大きく、諸先輩方の御努力無くして今のドラッグストア業界の発展はないと考えている。

私たちはこれからも、生活者のそばに寄り添い、行政や関係団体と連携し、もっと世の中の役に立つよう進化していかなければならない。特に2025年には、75歳以上が4人に1人の超高齢社会となる。今後ドラッグストアに求められる機能は、ヘルスケアとメディケーションであり、われわれが真の健康生活拠点として生活者のお役に立つべき時代が到来する。

その上で、私をはじめ副会長、理事らが一丸となって、個々のドラッグストア企業が、その理念を果たせるような環境を作っていくことが極めて大事だと考えている。ドラッグストア業界に夢を持って加わり、熱意を持って働くスタッフが、『参加して良かった』と言っていただけのようにしたい。

新しい体制では、特に医薬品の販売に関わる制度に対して、私たちは生活者の代弁者として、しっかりと国に伝え、関連団体とより一層の連携を果たし、お客様のお役に立つ業界を目指す。それが結果的に、JACDSに所属する企業全てが、尊敬される存在になっていくと考えている。皆で力を合わせて、その実現に向け取り組みたい。



総会後の記者会見で新体制を発表。記者の質問に答える新旧会長

【キリンHD】ファンケルの完全子会社化を目的とした公開買付け開始

キリンホールディングスは6月14日にグループ会社のファンケルに対し、完全子会社化を目的とした株式の公開買付（TOB）を行うことを明らかにした。キリンHDはファンケルの株式を7月29日までに全株取得する方針で、全株取得に至らずとも議決権比率に応じた株式を取得し10月下旬には、完全子会社化の予定。取得後、ファンケルは上場廃止。

買付機関は6月17日より7月29日までで、結果は7月30日に公表され、全株取得した場合、ファンケルの完全子会社化が完了する。TOB 価格は1株当たり 2,690 円で、買付総額は約 2,200 億円となる。全株取得に至らなかった場合、議決権比率に応じた手続きに移行する予定で、議決権が90%以上ならば株式売渡請求手続きを踏み、9月上旬に株式取得。また議決権が90%未満の場合は株式合併手続きを踏み、ファンケルの臨時株主総会を開き10月下旬に株式取得となる。

ドラッグストアジャーナルとは？

「ドラッグストアジャーナル」は、2024年7月にローンチしたドラッグストア業界に特化した日刊メディアです。日々進化を遂げるドラッグストア業界。よりビジネスに役立つ情報を、いかに早く入手するかがビジネスに大きな影響を与えます。

競合他社の状況を知りたいドラッグストア企業様、よりドラッグストア業界を理解したい取引メーカー様・卸売業様、ドラッグストア市場に新たに参入したいメーカー様に打ってつけのメディアになります。編集者・記者は「ビジネスに役立つ即戦力の情報」を軸に、日々取材・編集活動を行っています。

平日毎朝6時に最新ニュースを会員の皆様に、紙面PDFをダウンロード可能なURLをメールで送信し、Webアーカイブ版では最新記事だけではなく過去記事も検索可能で、いつでも必要な情報を得ることができます。現在スタートアップキャンペーンを実施しており、購読料が定価よりもお安くなっておりますので、ぜひドラッグストアジャーナルの購読をお願いします！お申し込みは、本書最終ページの申し込み用紙またはQRコードから！

年間購読料（スタートアップキャンペーン中！）

- 1 アカウント = 定価 ~~88,000 円 (税込)~~ → 79,200 円 (税込)
- 3 アカウント = 定価 ~~264,000 円 (税込)~~ → 231,000 円 (税込)
- 5 アカウント = 定価 ~~440,000 円 (税込)~~ → 393,000 円 (税込)
- 10 アカウント = 定価 ~~880,000 円 (税込)~~ → 720,000 円 (税込)
- 20 アカウント = 定価 ~~1,760,000 円 (税込)~~ → 1,210,000 円 (税込)

それ以上のアカウント数や企業・部署単位でのご購読をご希望の方は、info@dgs-j.net（担当：佐藤）までお問い合わせください。



媒体詳細

☆メディア名：ドラッグストアジャーナル

☆発行・更新頻度：平日毎日（月20～22回、年間記事1,000本以上）

☆記事内容：①最新の業界ニュースとその解説

②決算や人事、行政、店舗情報を中心とした最新の業界ニュース

③経営トップやキーパーソンのインタビュー など

☆配信・更新方法：①登録のメールアドレスへ紙面PDFをダウンロードするURLを送信！

②Webアーカイブ版では最新記事だけではなく過去記事の検索も可能！

☆配信・更新時間：平日毎朝6時

ドラッグストアジャーナル申込書

申込日 令和 年 月 日

ドラッグストアジャーナルの年間購読に申し込みます。
メール返送先：info@dgs-j.net（担当：佐藤）

貴社名		メール アドレス	
ご氏名		電話番号	()
部署名		肩書き	
ご住所	〒		
ご請求書	電子 or 紙	お申し込みアカウント数	

お問い合わせ	
--------	--

DgS Journal

—ドラッグストアに特化したデイリーニュース—

ヘルスケアワークスデザイン株式会社 佐藤健太

info@dgs-j.net